



■□ カントリーサインデザインが新しくなりました

芦別市のカントリーサインのデザインが、4月25日から新しくなりました。

カントリーサインとは、市町村との境界に設置されている標識で、昨年の芦別120周年・市制施行60周年を記念して市民の皆さんから芦別をイメージするキーワードを募集。これを基に3種類のデザインを作成して公表し、市

民投票により決定しました。

これまでのカナディアンワールドをモチーフとした赤毛のアンとラベンダー畑のデザインから、「自然がいっぱいで、空気が澄んで、星がキラキラと輝く『星の降る里』」をイメージしたデザインへと一新されました。

カントリーサインは市内の国道3か所、道道4か所に設置されています。

■□ 市内に住んで、働いて1年 3人に「ふるさと就職奨励金」を交付

昨年度制定した「芦別市ふるさと就職奨励金」制度で、市内に勤める3人が交付対象の第1号となり、4月30日に清澤市長が奨励金を手渡しました。

同制度は、雇用の安定確保と移住促進を目的として設けられ、UターンまたはIターンの50歳未満で市内に居住して市内の事業所に1年以上雇用された方を対象に、1年10万円分の地域限定商品券「どんぐり」を奨励金として贈るもので、3年間続けられます。

交付第1号となったのは、写真右から伊藤駿さん(23歳=北海道電子工業)、林彩奈さん(21歳=みどり幼稚

園)、高橋佑人さん(19歳=北日本精機)の3人で、林さん以外は市外の出身です。

奨励金を手にした3人は、「と

てもありがたいです。これからも仕事を頑張ります」などと感想を述べていました。



■□ 「知らない人にはついていきません」。保育園児が防犯学習会



5月8日、「子ども110番緊急避難所」幼児向け学習会が子どもセンター保育園で開かれました。

子どもたちが不審者による事件、事故に遭わないよう、どんなことが危険か、危ないときはどうしたらよいかなどを知ってもらおう、と芦別警察署の協力を得て行われました。

学習会では、3歳から5歳の園児ら約50人が、芦別市防犯協会のマスコット「アシボーくん」などぬいぐるみと一緒に、「知らない人について行かない」、「あぶないと思ったら大声で叫んで、すぐに近くの人に知らせる」など、ビデオ映像を見ながら学習しました。

■□ 芦別観光と映画、札幌大通ビッセでプロモーション

星の降る里・芦別映画『野のなななのか』(大林宣彦監督)が、5月10日から札幌市、旭川市など北海道内11か所の劇場で一斉に公開されたのに合わせ、映画PRを兼ねた芦別観光プロモーションが、5月9日から11日までの3日間、札幌市・大通ビッセで行われました。

同所では、木工クラフトやさくらんぼ

ジャムなど芦別市の特産品を展示・販売したほか、市職員や「野のなななのか」製作委員会のメンバーらが芦別観光パンフレットなどを道行く人たちに配布。また10日には、映画舞台あいさつのため来道した大林監督と主役を演じた俳優の品川徹さん、常盤貴子さんも移動の合間を縫って会場に駆けつけ、PRに一役買いました。

